

2024年度 第2回学校関係者評価委員会 議事録（要約）

開催日時：2025年1月29日（水） 15：00～16：30

開催場所：専門学校 YIC リハビリテーション大学校 会議室

出席者：外部委員（各1名）

- ・専門学校 YIC リハビリテーション大学校 保護者
- ・有識者 理学療法士
- ・有識者 作業療法士
- ・専門学校 YIC リハビリテーション大学校 理学療法学科卒業生
- ・専門学校 YIC リハビリテーション大学校 作業療法学科卒業生

出席者：学内（8名）

- ・校長、副校長、事務長、校務課長、教務担当者、作業療法学科長、理学療法学科長、議事録担当者

1. 校長挨拶

1) 学校の現状

- ・国家試験が迫っており、4年生が教員とともに準備に励んでいる
- ・3月卒業以降、国家試験結果を受ける
- ・リハビリの学校への志願者が年々減少しており、志願者増加に向けた努力が必要

2) 本委員会の目的と要望

- ・外部の視点から意見を得て、学校運営に生かしたい
- ・どのような意見でも率直に出してほしい

2. 学校関係者評価委員会自己紹介

3. 定足数確認、委員長・副委員長の選出

定足数確認。委員12名、過半数以上の出席により本会議は成立する。

委員長に有職者理学療法士、副委員長に有職者作業療法士を推薦。全員の賛同により承認された。

4. 議事

2024年度経過報告

①2024年度自己点検評価結果の検証・・・資料 2024年度自己点検・評価報告書

- ・評価項目（4段階評価：4＝適切、3＝ほぼ適切、2＝やや不適切、1＝不適切）
- ・評価4が大半であるが、課題が指摘された項目や前年度からの変化点に関して以下に記す
「1 教育理念・目標」「7 学生の受け入れ募集」「8 教育の内部質保証システム」「9 財務」
「10 社会貢献・地域貢献」「11 国際交流」については全て評価4（適切）のため省略

「2 学校運営」について

- ・2024 年度新設項目：2-3 中項目（中期計画）
- ・2-4-5 理事会・評議会の議事録公開
現在：理事会議事録は閲覧が可能だが、規定が明確でなく評価 1。
今後：規定を明文化し、閲覧可能であることを明示する。
- ・2-7-1 情報システム化による業務効率化
現在：DX 推進中だが、十分ではなく評価 3。
今後：改善の余地あり。

「3 教育活動」について

- ・3-2-3 コマシラバス
現状：一部の科目で作成されているが、ルール化して作成しているわけではない。
今後：すべての科目で整備を進める。
- ・3-2-22 授業や学習の定期観察
現状：希望者のみ実施。体系化されていないため評価 2。
今後：定期的な実施の仕組みを作る。
- ・3-2-91 地域特性を生かした教育
現状：交通安全教育を未実施のため評価 1。
今後：具体的なプログラム導入の検討。

「4 学習成果・教育成果」について

- ・4-3-1 資格取得率の向上：今年度の国家試験結果が発表され次第記入。
- ・4-4-1 卒業生の社会的評価：卒業生の動向を把握する取り組みを十分行っているため評価 4

「5 学生支援」について

- ・5-2-4 就職率の向上：就職活動中につき未記入。確定次第記入。
- ・5-2-8 県内の就職率の向上：同上
- ・5-5-1 退学率の低減：昨年度は退学率 3.3%で目標未達成も減少傾向。

「6 教育環境」について

- ・6-1-4 図書館サービス
現状：図書貸し出し運営が不十分なため評価 3。学生が「資料がない」と感じることが多い。
今後：教科書の電子化検討。検索サイト（メディカルファインダーやメディカルオンライン）の活用を継続。
- ・6-3-22 防災研修
現状：設備はあるが防災関連の研修は未実施のため評価 3。
今後：研修の実施を検討。

<質疑応答>

- (1) 3-2-91 地域の特性を生かした教育について、地域の特性として交通安全教育以外に何があるか。
- A. 社会貢献事業として宇部市の介護予防事業や下関市のインクルーシブスポーツ事業にも協力し、授業の一環として学生にも参加してもらっている。それらは地域の特性を生かした教育・活動につながっている。今後も拡大すると思われ、次回の会議に情報をまとめ報告する。
- (2) 2-4-5 理事会・評議員会の議事録の公開について、閲覧はどのあたりの人までができるのか。理事会とはどのようなものか。
- A. 現在も議事録の開示請求があれば開示でき、誰でも閲覧可能。しかし明文化していないため、今後は明示し請求に対して公開していく方向。
- 理事会は学校法人全体の理事と評議委員のみで開催され、当校からは校長のみ参加。学校運営において特に関係のある事項としては、新規実習先の承認と県への提出がある。
- (3) 5-2-8 就職について、学生が就職活動するのはいつ頃か。
- A. 通常は全ての実習が終わる9月末から本格的に就職活動を開始するが、公立の病院は早く案内が来るため、そのタイミングで開始することもある。就活開始時期はその年で違う。県内の就職希望者は年によって増減がある。作業療法学科はここ数年動きが速く、年内にほとんどの学生が就職活動を行いほぼ内定が決まる。数名が1月または国家試験が終わってから活動開始。作業療法学生はほぼ県内就職希望者が多い。
- (4) 図書の貸し出しをしていないということだが、学生が引用する資料に関して、学生にどのような指導がされているか。
- A. 図書室の本もかなり古くなっているため、学生には信頼できる2つの文献検索サイト(メディカルファインダーとメディカルオンライン)を紹介しており、授業や実習前の指導で伝えている。書籍の貸し出しシステムはないが、学生から要望があれば貸している。臨床実習で学生がうまく検索できないようであれば、検索キーワードのヒントを提示していただきたい。現在、学校としては書籍よりも検索サイトに費用を当てている。教科書もデジタル化しており、今後図書室の必要性も含め検討が必要。
- (5) コマシラバスについて、外部の講師はまだ誰もされていないという理解でよいか。
- A. まだ外部の先生にお願いしたことはなく、これから段階的にお願いをしていく。専門学校の基準を満たすためにも今後コマシラバスの作成は必須である。
- (6) 実習先に関して、学生の希望に沿って決めていると思うが、希望のない学生はどうしているか。また、一つの施設に希望が集中した場合はどうしているのか。
- A. 現在学生にアンケートし、基本的に希望に沿って配置。希望がない学生は、県内外、車の有無、宿舎の有無などを配慮し決定する。また分野的に偏らないように配慮している。希望が集中した場合は、基本的に成績が優秀な学生から優先的に対応している。実習先の情報は学生間で間違っても伝達されていることもあるため、教員から正しい情報を伝えるようにしている。

(7) 養成校単体での広報活動は限界を感じている。現場の病院・施設として職種の理解など広報的な部分で取り組まれていることはあるか。また、どのような経緯でなされているか。

A. 医師希望、薬剤師希望の学生の見学希望はある。コロナ以降は希望での見学はない状況で、病院の見学や職場体験自体が減っている。見学・職場体験は地域連携室が中心となって行っている。実習生に対し出身校を聞かれることが多く、実習が広報につながる部分もあると思われる。

②2024 年度学科報告・資料 2024 年度学科報告資料

< 質疑応答 >

(1) 臨床実習の指導法が変わり、実習のためにリタイアする学生は減ってきたか。

A. 実習を機に退学した学生はいない。以前の実習に比べ、学生の能力に合わせて丁寧に指導してくださっている。実習以外の理由（進路変更、体調など）で退学することはある。ハラスメントの減少が見られるが、指導者のスキル向上が必要。

(2) 施設側としてシームレスな卒後教育にも力を入れている。学生時代の情報を申し送るなど何か良い方法はないか。

A. 学生の個人情報に関わるため、開示できない部分もある。実習チェックリストは本人の承諾が得られれば開示できる。実習先によっては実技テストなどで能力を把握している施設もあり、就職後そのようなテストをされてみるのもよいのではないか。

②について、全員一致で承認した。

③ 2024 年度重点項目への取り組みの検証・資料 2024 年度重点項目への取り組み

重点項目（1）定員充足

・作業療法学科は 2025 年度生から定員を 20 名から 30 名へ増員したが、定員充足には至っていない。

< 新たな施策 >

- ・オープンキャンパスのアンケートをデジタル化し、事前事後アンケートを作成した。
- ・事前アンケートから興味関心を把握し個別面談にてタイムリーに支援できている。
- ・分かりやすいマニュアル、資料を作成し、個別面談で分かりやすい説明が可能となる。
- ・SNS や報道を活用し、タイムリーな情報を発信している。
- ・高校訪問を充実化した。
- ・社会貢献を多く行い、知名度を上げる取り組みを実施。
- ・職員に対し、学生募集に関する研修を実施。

重点項目（2）国家試験合格率 100% 達成，国家試験対策教育の充実

< 新たな施策 >

- ・学習アプリを活用し、早めの国家試験対策と学習の効率化
- ・模試の業者、中身の見直し
- ・成績が悪い学生に対し、早期から個別学習支援開始

重点項目（3）データ管理に関するマニュアル作成（ペーパーレス化、データ整理）

<施策>

- ・MyiD を活用し、保護者や学生との連絡を簡素化
- ・学内会議のペーパーレス化
- ・教務日誌等をデータ化し共有することで、業務を効率化

<質疑応答>

（1）学生がこの学校を選ぶ理由等の分析は何かされているか。近年の大学志向はどうか。

A.入学後すぐに業者を介したアンケートを実施している。当校を選ぶ理由としては、利便性が一番多く、その他インターネット・SNS で知ったという学生も増えている。高校の先生に勧められた学生もいる。18歳人口が5年単位で緩やかに下がっていく傾向であり、最近は商業、工業系の高校の就職率がよく、専門学校を希望する学生が少ない現状。

偏差値が高い学生は大学志向が強いのではないか。本校を滑り止め（併願）で受験している学生は今年は2人。ダブルスクールに関しては、学費がかかることや、当校が4年生で高度専門士の取得が可能のためメリットがないと思われる。また、志願者がいない状況。放送大学は希望があれば可能である。

最近は親に勧められて入学するというよりも、SNS で見て自分から希望してくる学生が多いと感じる。地域貢献活動や SNS での発信が募集につながっている部分は大きいと思われる。

（2）病院で何か DX 化されていることはあるか。（校長から委員への質問）

A.上層部で進めていきたい話はあるがあまり進んでいないのが現状。タブレットの活用、議事録での AI 活用等行っている。まずはやってみることが大事なのではないか。

（3）保護者として MyiD を使用してみてどうか。登録していない保護者はどういう理由か。（校長から委員への質問）

A.（保護者委員より）ペーパーではかさばったりなくしたりがあるが、MyiD では履歴も見ることができ、時と場所を選ばず情報が得られる。

（学内委員より）入学時に MyiD の登録を案内しており、1～2年生の登録率はほぼ100%であるが、4年生の一部の保護者で未登録ではある。

③について、全員一致で承認した。

（2）その他

特になし

5. 報告等

(1) 学校の年間予定について

- ・令和7年2月24日：国家試験
- ・令和7年3月5日：卒業式
- ・令和7年3月6日：進級判定
- ・令和7年3月21日：合格発表

(2) 学校パンフレット・募集要項について

- ・次年度向けの新しいパンフレットを現在作成中。
- ・DX化として今年度からWeb出願を新たに開始。効率的な事務作業が可能となった。
- ・定員充足の措置として、総合型選抜により評定平均が低い学生でも入学しやすくなっている。しかしその一方で卒業が難しいというような現状になっている。

(3) その他 委員の任期に関して

- ・令和7年3月で任期の2年が終了となり、継続に関しては個別に相談させていただきたい。
- ・保護者委員がお子様の進級・卒業の兼ね合いで退任となる。

以上